

RFワールド

RADIO FREQUENCY

特集案内 RFワールド No. 42 (2018年4月29日発売)

「温故知新!対数周期自己補対アンテナ」(仮題)

■企画主旨

対数周期自己補対アンテナ, 通称ログペリは短波からミリ波やテラヘルツ波に至るまで, 超広帯域特性をもつ最も代表的なアンテナとして今日も広く使われています. しかし, その超広帯域特性を実現するのに対数周期(ログペリオディック)構造だけでは不十分であり, 自己補対構造が必須であることは関係者以外にあまり知られていません.

自己補対構造にすると, その入力インピーダンスが周波数に無関係に一定であることを見出し, 1948年に発表したのは虫明康人氏(東北大学)でした. その後, この発表は米国で注目を浴び, 超広帯域アンテナが実用化されました.

2017年7月, IEEEはアンテナにおける自己補対の原理と虫明の関係を発見した功績を称え, マイルストーンに認定しました.

特集では, この超広帯域アンテナを取りあげ, その動作原理や設計法, 応用事例などをご紹介します.

■想定読者

- ・無線や高周波に興味をもつ高専/大学生, 若手研究者, 新入社員
- ・研究/開発/設計などに職業的に取り組むエンジニア

など

■章立て案

- 第1章 概要
- 第2章 対数周期アンテナの原理と構造
- 第3章 対数周期アンテナの実用的な設計例
- 第4章 対数周期アンテナの実用例-1:HF帯
- 第5章 対数周期アンテナの実用例-2:V/UHF帯
- 第6章 対数周期アンテナの実用例-3:マイクロ波帯
- 第7章 まとめ

RFワールド

RADIO FREQUENCY

特集案内 RFワールド No. 42 (2018年4月29日発売)

■通常広告料金

広告スペース	普通版料金	寸法(天地×左右)	断切版料金	寸法(天地×左右)
表4	480,000円	230mm×160mm	528,000円	242mm×171mm
表2	440,000円	230mm×160mm	484,000円	257mm×182mm
表3	370,000円	230mm×160mm	407,000円	257mm×182mm
4色1ページ	360,000円	230mm×160mm	396,000円	257mm×182mm
2色1ページ	240,000円	230mm×160mm	264,000円	257mm×182mm
白黒1ページ	180,000円	230mm×160mm	-	-
白黒1/2ページ	120,000円	110mm×160mm	-	-

*表紙以外の掲載場所は、台割の状況により弊社で決めさせていただきます。

■広告進行日程

申込締切日	データ入稿締切日	発売日
3月5日	3月19日	4月29日

*広告原稿は弊社で作成することも可能です。

■媒体概要

発行日：年4回、29日発行(1月、4月、7月、10月)

定価：1,800円(予定)+税

判型・綴じ：B5判・無線綴じ

ページ数：144ページ(予定)

発行部数：20,000部(予定)

付録：大判カラー折り込み 周波数チャート/1~2枚

▲今後の特集予定(変更になる場合はございます)

No.43「ワイヤレス電力伝送」(仮題)

7月29日発売

No.44「4K/8K時代のケーブルTV入門」(仮題)

10月29日発売

■広告のお問い合わせ先 >> CQ出版社 エレクトロニクス出版部

中元正夫 TEL. 03-5395-2139 email. nakamoto@cqpub.co.jp